

和歌山の二つの図書館を見てきました！ 12月7日総勢9人参加

和歌山市民図書館



南海和歌山市駅に新しく移転新築開館した和歌山市民図書館は2020年6月にオープンしました。旧図書館は1981年開館。蔵書約45万冊の市直営の独立館で、和歌山市駅から500m離れた地であって、ごく標準的な図書館でした。

図書館は駅から直結の駅前商業施設キーノ和歌山の中にあり、便利な立地ということもあり、開館以来、大いに賑わいを見せています。

運営はCCC（カルチャ・コンビニエンス・クラブ）が指定管理者となっており、いわゆる全国で6番目のツタヤ図書館として誕生しました。施設としては落ち着いた色調で、全体的におしゃれな感じで、本をインテリアとして上手に配置してあり、知的でハイセンスな雰囲気を出しています。若い人に人気のある理由がわかります。

1Fは図書館の本（文学全集）と、売り物の本並びにグッズ、土産物も販売、観光案内もあります。店員は図書館業務（貸出・返却）もするし、物品の販売もします。

2Fは小説類と、料理／旅行／住まいと暮らし／趣味・実用の本等が、いわゆるツタヤ分類（ライフスタイル分類）で並べられています。

3Fは、総記／哲学／歴史／科学等の専門書がNDC分類で並べられています。

4Fは、こどもとしゃかんで、絵本／読み物／学ぶ／作る／あそぶ等、ツタヤ分類で並べられています。本のピラミッド（階段状の書架）や洞窟をイメージした部屋があり、プレイスペース、飲食可能なもぐもぐスペースもあり、和歌山市地域子育て支援拠点施設があり、子育て世代にも嬉しい図書館となっています。

年中無休・午前9時～午後9時開館。蔵書約50万冊。和歌山市民以外の人も登録・貸出可能。移民資料室、有吉佐和子文庫がある。

海南ノビス

海南ノビノスは、図書館機能、市民生涯学習活動支援機能・子育て支援機能、カフェ・広場などを有する市民交流施設です。ホールや会議室、ギャラリー、音楽練習室等もあります。

図書館機能と託児室は毎木曜日が休止日、施設自体は年末年始以外は開館。図書館の蔵書は約15万冊。運営はTRC（図書館流通センター）による指定管理。2020年6月開館。

海南市には以前、市役所と併設した子ども図書室がありましたが、市役所の移転した跡地に市民交流施設を建設することになり、大人も使える図書館機能を中心にした施設となりま



した。元・子ども図書室ということで、**2Fは絵本中心**です。5万冊の絵本があります。ここノビノスにもプレイスペースと子育て支援機能があります。スタバもあります。ユニークな絵本架、寝転がって読めるスペースもあり、中高生もたくさん来ていて、ゆったりくつろげるような感じの図書館です。**3Fは児童書の読み物、4Fが一般書で自習できるコーナー**もあります。人口**5万の市**で、昨年度は**62万人の来館者**があり、多くの利用者があることが頷けるような、あたたかい、居心地の良い空間となっています。(1Fは駐車場)

「図書館とはなにか」を考えた

～和歌山市民図書館・海南 nobinos を見学して～

「学びを広げる学校図書館の会・堺」代表 巽照子

「南海和歌山市駅に直結する図書館見てきたよ。良かった。子育て中のひとには、子どもとゆっくりと過ごせる場所。学習席もたっぷり700席」「堺からも通う学生もいる」「観光スポットになっているようだ」と友人から聞いていた。確かに、ゆったりとした空間、市民の交流の場であり、活動の場である。

指定管理者で運営されている2か所を見学して、改めて「図書館とはなにか」を考えた。

和歌山市民図書館で「小中学校にはブックトークとか読みきかせにいきますか」と質問すると「市との契約にははっていないのでしていません」とのこと。児童サービスの範疇には入っていないようだった。

図書館の普遍的な使命は、憲法が保障する住民の「知る権利」「表現の自由」「民主主義」を支えるための不可欠な公共施設・空間であり、最後の砦であることを常に意識することである。どこの公立図書館でも、必ず掲示されている。「図書館の自由に関する宣言」。しかし、両館ともなかった。海南市の場合 施設名から図書館が消えている。

図書館の自由に関する宣言は、「図書館員の倫理綱領」、「ユネスコ公共図書館宣言」、「図書館利用における障害者差別の解消に関する宣言」などと並ぶ、日本図書館協会の綱領である。図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もつとも重要な任務とする。この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

図書館は、住民の潜在的なニーズや時代の流れを的確に把握しながら、図書館の多様な役割を追求し柔軟に対応していくことが求められている。

私は、図書館は地域社会とともに活動すると考えている。まちづくりのために地域に踏み出す。子どもたちの学びを広げるために学校教育と密に連携していく。そのためには、教育委員会所管で専門職の司書が継続的に正規職員として、雇用されることが必要条件である。賑わいの図書館づくりに心を奪われることなく、民主主義の砦の図書館を守るために活動をしよう。

参加者からの感想

和歌山市民図書館



おしゃれな図書館！
4F は子育て世代の人には
嬉しいでしょう (A)

図書館の入り口 (1F) ド
アを開けたら売り物の
本やグッズの類がいつ
ぱい！あきれた！ (B)

この規模の図書館としては雑誌が少ないように思う (S)



和歌山市民図書館の検索機は本当に使いにくいわねえ。確かにあるはずの本なのに、いくら待っても出てこない？分類も NDC じゃないし、これで調べ学習できるのかな？ (W)

やたら、小部屋が多くて、本の並び方もよくわからん (K)



和歌山市民図書館には本のピラミッドや本の洞窟があるけれど、安全性は大丈夫なのかな？
職員もあまり多そうでなく、死角もいっぱいあるようだけど…。監視カメラも多いね (G)



駅直結でホテルのロビーのような落ち着いた感じの和歌山市民図書館と、郷土ゆかりの優しい色合いの書架が曲線に配置された開放的な海南ノビノス。雰囲気は全く違いますが、どちらも素敵で誰もがまた行きたくなる図書館というのはうなずけます。椅子やベンチやテーブルがあちこちに配置されて、居心地も良く、楽しい本や意外な本に出合える場。でも、目的をもって本を探したり調べたりするにはちょっと判りにくくて厳しいかなとも思いました。(M・Y)

海南ノビノス



寝そべられるスペースや秘密基地みたいなところがあって、おもしろい！館内の書架や家具等がカラフルできれい！温かい感じ！海南市の伝統色だそうだけで、郷土愛が感じられていい (Y)



4F の窓際のスペース、1 人用の机と椅子に観葉植物まで置いてあって、書齋みたいでステキ！椅子が一つ一つ違っているのね。自習コーナーの椅子も、お気に入りの椅子に座ってくださいって (M)



絵本の並び方がよくわからない。書架にサインがないね (T)